



ぶんと通信

第67号

2009年12月15日発行
(財)伊賀市文化都市協会

大村神社

参宮街道として賑わった初瀬街道を伊勢に向かって阿保宿に入ると、右手にこんもりした森が見えてくる。本居宣長の「菅笠日記」にもある大森さんと呼ばれた「大村神社」の森だ。樹齢数百年を数える木々が荘厳なたたずまいを見せる。ムササビが飛び交う姿や、フクロウ等の野鳥が見られる自然豊かな鎮守の森である。

「大村神社」は、この地の開祖が祀られており伊賀でも一番早くに開かれたところである。平安期の文献延喜式神明帳には、主神は大村の神息速別命(イコハヤワケノミコト)であるとしている。二千年前の十一代垂仁天皇の皇子であり、この地に宮室があったと伝えられる。近くには伊賀唯一の宮内庁所管陵墓「阿保親王塚」(息速別命の墓)があり、その説の信憑性を裏付けている。又、大村とは、阿保六郷上津六郷を含む「大きい村」等諸説があり、真偽は神の代に問うしかない。

【宝殿】天正伊賀の乱で焼失した社殿を天正十五年に再建した。明治時代に新しい社殿を建てた際に宝殿として残され、昭和四年に国宝、昭和二十五年からは重要文化財となる。安土桃山時代の建築美の特徴を見事に伝えている。

【要石】鹿島神社の神が春日大社へ向かう道中、一休みした折に「要石」を奉鎮したという。地震除けとして全国から信仰を集めており、安政元年の大地震では阿保地区だけが難を逃れたとか傍にはまなずの石像が奉納されており、幾重にも守れている気持ちになる霊験あらたかな祠である。

【虫喰鐘】日本三大奇鐘のひとつ。神仏習合の時代には禪定寺があり、梵鐘をつくる為に全国各地から淨財を集めたという。その中に、大和の豪家の娘が若死をした為、両親が供養として寄進した銅鏡があった。それを恨んだ娘のたたりが鐘乳(こぶ)を食う虫に化身したという。故に鐘にはこぶが無い。

伊賀は四方を山に囲まれた自然豊かな国である。そして、四方山な歴史と文化に彩られた秘蔵の国でもある。
(広報事業委員 辻村勝則)

BUNTO チケット情報

BUNTOクリスマスコンサート
波多野みち子&上野合唱団コンサート

「クリスマスの
歌の玉手箱」



12/19土 好評発売中

開場13:30 開演14:00
一般 1,000円
当日200円増
(全席自由)
あやま文化センター

伊賀びと奏でコンサート
大正琴で奏でる
新春コンサート



1/24日 好評発売中

開場13:00 開演13:30
一般 500円
(全席自由)
ふるさと会館いが

第20回
青山推薦コンサート



1/24日 好評発売中

開場13:00 開演13:30
一般 1,000円
(全席自由)
青山ホール

佐藤しのぶ
オペラ・ファンタジー
蝶々夫人



3/5金 1/16土 好評発売中

開場18:30 開演19:00
一般 2,500円
高校生以下 1,500円
(全席指定)
伊賀市文化会館

東京混声合唱団
青山ホール特別公演



3/6土 好評発売中

開場13:30 開演14:00
一般 2,000円
(全席指定)
青山ホール

第10回 能楽鑑賞会

3/7日 12/19土 好評発売中

開場13:00 開演13:30
一般 1,000円
高校生以下 500円
(全席自由)
ふるさと会館いが

青山ホールこども劇団
「うてかえりこんぼ」
第5回定期公演

3/14日 1/31土 好評発売中

開場13:30 開演14:00
一般 700円
小学生以下 500円
(全席自由)
青山ホール

スウィーティー Nana 〈大正琴〉

来年1月24日(日)ふるさと会館いがで「大正琴で奏でる 新春コンサート」が開催されます。初のコンサートに向けての練習の最中にスウィーティー Nana の皆さんにお話を伺いました。

Q. グループを結成されたきっかけは？

A. 大正琴といえば、演歌といったイメージで見られがちですので、それを変えたいと4年程前に立ち上げました。現在は7人で活動しています。

Q. どんな活動をされていますか？

A. 小さなライブハウスでのミニコンサートや、大型店舗などでも聴いてもらっています。

Q. 大正琴の魅了は？

A. 一言で言うと、アンサンブルの面白さ。7人が七つのパートに分かれながら責任を持って一つの音楽に作り上げる楽しさが最高です。

Q. 1月のコンサートに向けての、皆さんのお気持ちなど聞かせてください。

A. 大きな発表の機会をいただいたことを、とても感謝しています。ともすれば、童謡や演歌に偏りがちな大正琴の

イメージを変えるべくジャンルを広げて、一人でも多くの方にアピールできる演奏をしたいと、一生懸命に練習しています。

各自仕事を持ちながら時間を調整して練習に励んでおられるのですが、皆さんとても明るく楽しそう。

コンサートでは7人の輪が素晴らしいハーモニーを奏でられることでしょう。ぜひ、たくさんの方のご来場をお待ちしています。
(広報事業委員 廣澤良美)



◆体験レポート◆ 能楽体験の感想

ふるさと会館いがの能楽教室・能楽鑑賞会でお世話になっている喜多流能楽師の長田先生おさだにお願ひし、市内の学校へ能楽体験に出かけました。寄せていただいた感想文を紹介します。

11月4日に重要無形文化財認定者でいらっしゃる「喜多流能楽師」の長田先生おさだと郷先生あきひろ、そしてお弟子さんの平塚さんに学校に来ていただいて、とてもアットホームな能楽体験をさせていただきました。

能は中学校の音楽や社会の時間に地域の文化「能楽の発祥の地 観阿弥(伊賀出身)・世阿弥父子」として習いますが、言葉の説明や映像は難しく堅いイメージで捉えられてしまいます。日本を代表する伝統文化なのですが、それ故にかえってそう思われるのかもしれませんが、「自分達の国の伝統文化にもっと興味をもてる授業を」と考えていたときに、能の体験授業をさせていただけることを知り是非にとお願いしました。



能についてのお話や小謡の謡い方ではみんなよく声を出せていたと思います。また太鼓や小鼓、能管という和楽器にふれ、衣裳・面・かつらも舞台同様に着付けていただきました。

それらはとても興味深く楽しめた授業でした。そして何より能を身近に感じる事ができたことは喜びであります。2学期の終わりに「お正月にテレビで放映される能を観てください。」と呼びかけますが、次回の鑑賞は見方が変わっているはずだと楽しみです。また、ほとんどの生徒が身近に感じ、機会があれば観てみたいと感想を書いてくれました。

(生徒の感想文より一部抜粋)

能はとても奥が深いと思った。太鼓は真ん中の白いところ以外をたたくと音も出ないし破れるらしいから緊張した。小鼓はひもの締め方で音が変わり、なかなか鳴りにくく音が出たときはうれしかった。能管は全然音がでなかった。面は思っていたより小さく、付けると本当に見えにくかった。触るとシミになるときいて驚いた。先生や友だちが衣裳を着たとき動きにくそうと思った。小謡は謡えたように思うが先生達の謡は立派な声ですごかった。長田先生の能を観て、目がはなせなかった。能が身近に感じてやってみたいと思ったし、今日学んだことを思い出しながら一度観に行きたいと思った。

【丸山中学校音楽科教諭 中林一子先生より】

第10回となる能楽鑑賞会は3月7日(日)14時よりふるさと会館いがで開催いたします。能「三輪」をはじめ、狂言・舞囃子・仕舞など日本古来の文化をお楽しみください。



上啓筆 へとるふ

「シンガポールからこんにちは！」

典由家長



伊賀から南西へ約3050km、熱帯の国シンガポールに駐在しております。電機メーカーのアジア地域統括会社で財務の仕事をしています。海外赴任は、2度目となりますが、アメリカとも日本とも違う、この地の独特な香りを少し紹介させていただきます。

マレー半島の南端にあるこの小さな島国は、一言で表現すると「小粒でもびりりと辛い」国にみえます。華僑系やマレー系、インド系のいろんな移民族がいますが、雑然という意味での混沌さはなく、国を強くしたいという緊張感がひしひし伝わってきます。それって一体何だろう？と考え、身近で感じるのは「言葉」と「透明性」をベースにした競争原理です。最近では、バイオ・メディカルの分野で世界一になるべく先進諸国から最先端技能を持つ人材をスカウトしており、日本で定年で退官した優秀な人材も活躍しているそうです。私の業務に関係するファイナンスの分野でも、ロンドン・ニューヨーク・香港について世界4位の金融センター入りとなりました。経済活動の規制は、原則自由をつらぬいており、しかも海外企業の誘致を促進するため、いろんなイニシアティブを提供しています。

会社の同僚をみると、マレー語や中国語にくわえた英語の3ヶ国語を話す人たちが大勢います。多民族であるがゆえの共通語としての英語は、もちろん国策として導入されており、

小学生になるとすべての授業は英語で学ぶようです。日常生活に入り込んだ英語を使いこなすことは、特別な技能でもなんでもなく、もはや「道具」と化しています。それは、教育とか学習とかの肩肘はったものではなく、生き延びるための条件として真摯に吸収された結果なのでしょう。資源がなく、貿易の中継地点として発展してきたこの国の火打ち石だったに違いありません。日本から飛行機で僅か7時間の距離のこの小さな国で、就労年齢前の若者がすでに複数の外国語というインフラを取得しているというのは、脅威を感じます。一方で、日本は、「ものづくり」の技術や接客サービスの能力はすばらしい。これは伝統や文化が培った財産で、日本人らしさを守る為に大切にしなければいけないのだと、最近よく感じます。

シンガポールは、赤道直下にあるため、日中は30℃をこえており、当地の気候を聞かれると冗談で Hot-Hotter-Hottest と表現することもあります。超近代国家の顔と原始的な風土の残る刺激的な国ではありますが、何かが足りないと感じるのは、伊賀で育ったDNAのせいでしょうか？

春風に 吹き出し笑う 花もがな 松尾芭蕉

四季のない熱帯の国で、時々無性に日本が恋しくなるのは春の桜が満開になる頃です。来年の冬には任期を終え、日本で桜を愛でることができると、いま楽しみにしています。
(電機メーカー財務担当)

夢ing

『少林寺拳法 三重島ヶ原支部』

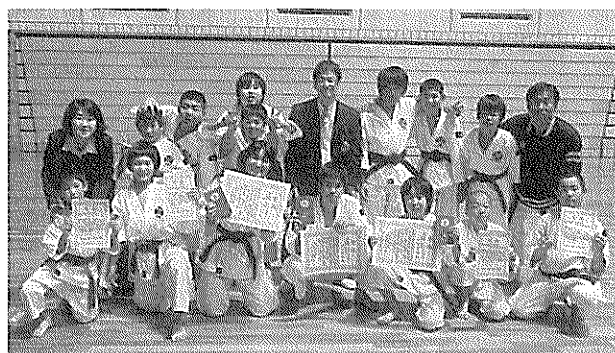
支部長 川向 啓造

去る10月25日、夢ドームに於いて、三重スポーツフェスティバル2009少林寺拳法三重県大会が、県下40支部から拳士、観客合わせて約1500人が集い、盛大に行われました。

少林寺拳法は自己確立（真に寄りどころとなる自分をつくる）ことが目的であり、防衛が主体となっているため、試合というものはありません。日頃の修練の成果と、演武という形で披露し自己の成長を確認します。優秀な演武には、その度合によって最優秀・優秀・優良・努力などの賞をいただきます。

この日は、演武の披露に加えて、吹奏楽のコンサートやチャリティーバザー、伊賀焼の展示販売会など様々なイベントも行われました。「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」という開祖宗道臣の教えを実践し、バザーの収益金は伊賀市内

の福祉団体に贈られました。当支部も、日頃の修練の成果を発揮し、たくさんの賞をいただくことができました。



伊賀のええもん見つけた

「建築家坂倉準三と伊賀上野」

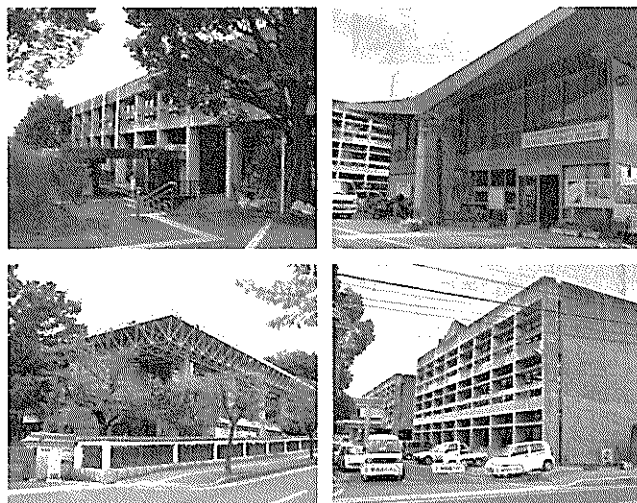
国連ビルやロンシャン礼拝堂等で有名な世界的建築家ル・コルビュジェのもとで建築思想を学んだ坂倉氏は、帰国後庁舎や公会堂、美術館などの公共建築のみならず、都市計画、住宅、家具のデザインにいたるまで幅広く活躍して戦後日本の建築界をリードしました。その作品群は建築家を志すもの達に大きな影響を与えました。

当地伊賀上野にも坂倉氏の素晴らしい建築作品が複数存在しています。坂倉氏の高校・大学時代の後輩だった当時の豊岡益人上野市長の招請で1959年から66年までに城山周辺に「上野市中央公民館」「市立西小学校」「市立崇広中学校」「三重県上野分庁舎」「レストハウス」そして「上野市庁舎」が建設されました。残念ながら西小学校校舎、崇広中学校校舎は現存しませんが城山を背景にしたその作品群はどれもまだ輝きを失っておらず、安易な現代風建築との格差を感じます。

古くなった、不便になった等の理由で昭和の名

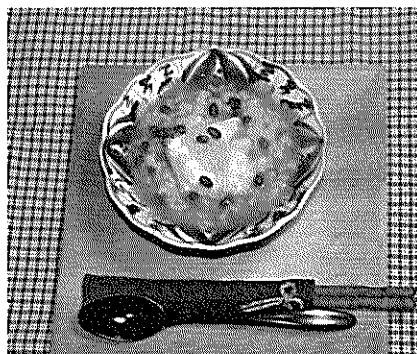
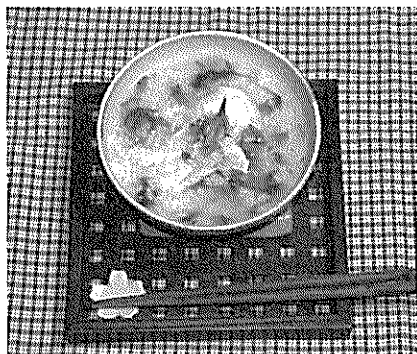
建築が取り壊されています。又、修繕補修をして蘇える建物も多くあります。この機会に市民の皆様も是非一度坂倉作品を訪れ味わってください。一度取り壊されれば再び出会うことは叶いませんから…

(広報事業委員 森 正美)



文化あれこれ春夏秋冬

「七草がゆとあずきがゆ」



元旦にいただくお雑煮は、地域ごとに違い日本人の「ふるさとの味」「家庭の味」の原点のようなものですが、七草がゆと小豆がゆにはあまり地域的なものはなく、テレビに映し出される位で日本で食べられている縁起ものの食べ物のような気がします。なかなか家庭で作られることはないかも知れないのですが、食の文化として1年の始め、万病予防と邪気払いのため是非作って子ども達にも伝えて行って欲しいと思うのですが、七草もそろわなくても身近にある青菜などで簡単に作ればよいもので、暮れに作ったおもちを塩水につけておき、やわらかくなったところでかゆの中に入れ、塩茹でした七草をかゆの上にのせ色が変らないうちにいただきます。美味しいものいっぱい食べたあとお疲れ気味の胃袋を休めてあげる意味でもやさしい食べ物ですね。

あずきがゆは「もうそろそろお正月気分も終わりですよ」の合図のような気がします。前の晩に小豆を煮ておくのが大事なことで、朝その煮汁で色よく炊きあげるのですが、水につけたおもちを入れるため、ドロツとしないように仕上げるのがコツと言えはコツです。

あずきがゆを神様仏様にお供えしたあと、正月の道具や仏具などを全部片付けてしまいます。そして、また一年が始まります。

(広報事業委員 松永啓子)

こだわり人生乾杯

「古典芸能に魅せられて」

橋本珠美恵

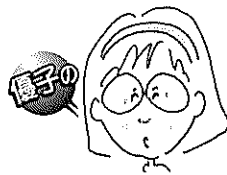
古典芸能と言えば、能・狂言・歌舞伎・文楽が代表ですが、中でも一番心地良く響いて来るのは「能」の謡。又、観ていて「くすくす」笑ってしまうのが狂言。歌舞伎や文楽からすれば能は難しく、狂言は地味といった感否めない。特に狂言は体一つで演じていると言っても過言ではないので地味の極。最小限の道具と最小限の装束。聞こえて来るのは演者の声とすり足の音。だから観客のヒソヒソ話もヒソヒソ話にならないから違う意味でも面白い。そんな能狂言世界が好きになり、好きになるとマスコットの的な物が欲しくなった。しかし、なかなか手に入らない。だったら作ってしまおうと作ったのが古典人形ストラップだ。

取り合えず一番作りやすそうな狂言の太郎冠者を作ってみた。携帯やカバンに付けていると「どうして能・狂言が好きなの？」と聞かれる。そこから熱いトークになってしまいが殆どの方が能狂言の世界をあまり知らない。しかし知識として知らなくても日本人の心は不思議と古典の鼓動を知っているように思う。だから、笛の音や鼓の響や謡の声に心地良さを感じ、思わず眠くなるのだと思う(笑)。六百年もの間受け継がれた能狂言。歴史や仏像ブームに見られるように、現代人は古典の中の安らぎに、もしかしたら包まれたいのかも知れない。ならば是非とも生きた能狂言の世界を訪れてみてはいかがだろう。より心打たれるものに出逢えるかも知れない。

(伊賀市ゆめが丘在住)



「人情」



多情
多感

No.27

北泉 優子

今朝、まだ八時になる前に玄関のブザーが鳴った。こんなに早く誰だろうと出てみると、民生委員のSさんだった。

「ご無事でしたか。よかったです…」いきなりの言葉に、わけが分からずキョトンとなった。昨夜、連絡がつかなかったから、何か変事でもあったのかもしれない、様子を見に行つてほしいと頼まれたのだそう。依頼者は友人のTさんだった。この通り元気だし、何の変化もなく、大丈夫ですと答え、迷惑と心配をかけたお詫びをして帰っていただいた。すぐにTさんに電話をかけた。「あなた昨夜は大変だったのよ。電話は受話器を取るのに、ぶつんと切れてしまうし、ケータイは電源が入ってないし、みなで自宅まで押しかけたのよ。でも、真つ暗で静まりかえってるし…」

Tさんは、わたしが妹分か娘分みたいに思っているYさんから、おかしいのよと連絡されたそう。

急病で倒れ、受話器は取れても喋れないのかもしれない。はたまた泥棒に入られ、狼ぐつわをかませられて話せないのかも…。色々想像し、不安にかられたYさんは、友人の誰かに電話をし、召集をして拙宅へと車を走らせたのだ。

そんな大騒動になっているとは、つゆ知らぬわたしは、日曜日の夜とあって、呑気にテレビを見、新しく来た仔猫のクリと遊び呆けていた。ただ、ベルが鳴らないのに電話のランプが点くので、それも幾度も幾度もあるものだから、そのたびに受話器を上げ、また置くという動作を繰り返しながら、変だなアとは思っていた。明日電気屋さんに見てもらおう。猫がコールドにそばえていたから、配線がどうにかなかったのかもしれない。

ケータイは充電中で、電源を切ったままにしておいた。そしてこの日にかぎって、十時に就寝してしまつた。

昨夜の騒ぎを知って、まず電気屋さんに連絡した。その結果は、何ということだろう。仔猫のクリの仕わざだったのだ。クリが電話

機を踏んづけ、ベルの音量をゼロにしてしまったのである。

「事ほど左様で、ごめんなさい。ご迷惑とご心配をかけました」わたしはYさんをはじめ、駆けつけてくれた人々に平身低頭の電話をかけた。Yさんなどは半泣きで、よかつたと言…。。

今年、東京で二人の女性が亡くなった。仲の良かった大原麗子ちゃんと、姉の友人でわたしを妹のように可愛がってくれた人だ。二人とも孤独死で、何日かその死が分からなかった。いずれ我が身もそうなるのだ…。そんな予感がよぎっていたのだが、この一件でふつとんでしまった。たった一夜連絡がつかないだけで、こんなに心配し、駆けつけてくれる友人たちがいる。自由に生きて、野たれ死ねばいいと開き直っていたけれど、この人情深い友人たちに囲まれて暮らしているのだと思うと、そんな不遜なことは夢にも思つては罰が当たる。あたたかい情を有難く受け、感謝しその御返しに元気に、しっかりと生きなければ…。そう固く決意したことであつた。

翌日から、Yさんに毎朝電話をしている。「今日も元気で、がんばります」そう告げると、ふしぎに力が湧いてくる。(作家・市内在住)

参加者募集

ボクササイズ



全身引き締めに効果的!!

【対象者】 高校生以上
 【日時】 毎週土曜日・5回講座
 第6期 1月16日(土)～2月13日(土)
 第7期 2月27日(土)～3月27日(土)
 受付 19:00/開始 19:30～20:30
 【定員】 30名 ※先着順。定員になり次第締切。
 【場所】 上野運動公園体育館 2階
 【受講料】 2,500円 (5回講座)
 【指導者】 中上 美代子先生

Let's YOGA

脂肪のつきにくい
“やせ体質”を作ります!

【対象者】 高校生以上
 【日時】 毎週金曜日・10回講座
 第5期 1月22日(金)～3月26日(金)
 受付 10:30/開始 11:00～12:00
 【定員】 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
 【場所】 上野運動公園スポーツセンター 1階
 【受講料】 5,000円 (10回講座)
 【指導者】 中 依伊子先生(パドマ会)

エアロビクス

音楽に合わせて
皆で楽しくエクササイズ!

【対象者】 高校生以上
 【日時】 毎週月曜日・5回講座
 第5期 1月18日(月)～2月15日(月)
 第6期 2月22日(月)～3月22日(祝・月)
 受付 19:00/開始 19:30～20:30
 【定員】 30名 ※先着順。定員になり次第締切。
 【場所】 阿山B&G海洋センター 2階
 【受講料】 2,500円 (5回講座)
 【指導者】 山下 華子先生

【申込方法】 12月26日(土)午前9時よりTEL 22-0511にて申込受付 ※受付開始直後は、お電話が混み合いがかりにくい場合があります。

生涯学習施設利活用事業
～美と健康の総合プロデュース～

YOGA de Night! 第4期

大好評につき、第4弾!
 健康、美容、整体、瘦身、呼吸、精神力強化等いろいろな効果
 をあげる「ヨガパワー」
 心身共に健康で自立できる元気な体力づくりにお役立てください。

【対象者】 高校生以上
 【日時】 第4期 毎週水曜日 8回講座
~~1月13日(水)～3月3日(水)~~
 開始 19:30～20:30
 【定員】 40名 ※先着順・定員になり次第締切
 【場所】 伊賀上野交流研修センター
 伊賀市三田986番地の1
 【受講料】 4,000円(8回講座)
 ※初回に徴収します。
 ※納入いただいたお金は返金できません。
 【講師】 日本総合ヨガ普及協会正指導師 堀川 郁子先生
 【申込】 12月27日(日) 午前9時00分から電話22-0511番にて受付。

1月13日(水)～3
 月10日(水)まで
 ただし、2月3
 日は休講としま
 す。

タッチ・ザ・スタインウェイ

～世界最高峰のスタインウェイを気軽に弾いてみませんか!～

■ふるさと会館いが 2月7日(日) 10:00～17:00
 ■青山ホール 2月11日(祝・木) 10:00～17:00
 ■あやまさんさんホール 2月28日(日) 10:00～17:00
 □演奏時間 1枠30分 ※おひとり1枠のみ
 ・申込者本人の利用。・音楽教室等の指導としての利用は不可。
 □参加費 500円
 ・青山ホールに限り、2台のピアノの場合は2人以上1組1時
 間で1人1,000円(ただし、8手の場合は1人500円)
 ・1枠に3名以上(ただし2台の場合を除く)の使用は不可。
 □募集人数 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切
 □申込方法 12月20日(日) 午前9時より電話受付
 ※「あやまさんさんホール」は「ふるさと会館いが」で受付
 □お申込・お問合せ ●ふるさと会館いが TEL 45-9125
 ●青山ホール TEL 52-1109

ママとベビーの
ジョイフルコンサート Vol.2未就学児同伴で気軽に楽しんでいただけるクラシックやポピ
ュラー音楽を中心としたコンサートです。マタニティの方には胎教に良いリラクゼーション効果をもた
らす曲の演奏もごさいます。

【日時】 3月7日(日)
 開場10:00 開演10:30 終演予定11:45

【場所】 伊賀市文化会館 ホワイエ
 【料金】 <前売>一般(小学生以上) 500円
 SaMaZaMa Club会員 450円
 ※未就学児入場無料 但し整理券要
 <当日>一般・会員共(小学生以上) 700円
 ※未就学児入場無料 但し整理券要
 【出演】 津フィルハーモニー管弦楽団
 【定員】 150人程度
 【チケット一般発売日】 1月31日(日)



佐藤しのぶさんの舞台に登場 「芭蕉祭市民合唱団」参加者募集

3月5日(金)に伊賀市文化会館で「佐藤しのぶオペラ
ファンタジー蝶々夫人」公演を実施します。公演の中で、佐藤しのぶさんに協力をいただき、伊賀からの
文化発信として芭蕉さんを取り上げることにになりました。佐藤
さんの朗読と共に、芭蕉祭市民合唱団による「芭蕉」を披露し
ます。ぜひご参加ください。

【公演日】 3月5日(金) 開場18:30/開演19:00
 <事前練習> ①1月29日(金) 19～21時
 ②2月12日(金) 19～21時
 ③2月26日(金) 19～21時

※公演当日の集合・リハーサルの時間は後日お知らせします。

【練習場所】 伊賀市文化会館リハーサル室

【内容】 テーマ:「芭蕉」
 朗読:佐藤しのぶ
 合唱:芭蕉祭市民合唱団「芭蕉」
 指揮:菅生和光 合唱指揮:栢森和重
 ピアノ:橋本宏美

【参加料】 無 料
 ※ただし、客席へのご入場にはチケットが必要となります。
 舞台の進行上、第2部からのご入場となります。

【募集期間】 12月20日(日)～1月25日(月)
 【申込・問合先】 〒518-0809 伊賀市西明寺3240-2
 財団法人伊賀市文化都市協会(伊賀市文化会館)
 TEL 0595-22-0511/FAX 0595-22-0512

お問合せ: (財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

伊賀まちかど博物館 10周年記念特別展

伊賀まちかど博物館は、新しいかたちの博物館です。いままでの「博物館」のイメージにとらわれることなく、コレクションや伝統の技、手仕事などを、仕事場の一角や個人のお宅などで、館長さんの語りとともに見ることができます。

平成12年3月に開館した「伊賀まちかど博物館」は全部で126館。平成22年3月で開館10周年を迎えます。そこで、貴重なコレクションのほか、伊賀焼などの手仕事、この地域ならではの歴史や技術を一同に集め、3期にわたり特別展を開催します。

- 【開催期間】 ・第1期(旧阿山郡エリア館)
1月24日(日)～3月6日(土)
・第2期(旧上野市エリア館)
3月21日(日)～5月8日(土)
・第3期(名張市・旧青山町エリア館)
5月23日(日)～6月26日(土)

【場 所】 上野歴史民俗資料館 2階展示室
(伊賀市上野丸之内116番地の2)

【開館時間】 9:00～16:30(期間中の休館日はありません)
※特別展の各期の最終日は午後3時まで

【入 館 料】 大人 200円/ 高大学生 150円/ 小中学生 100円

三重県指定有形文化財 入交家住宅特別企画

第2弾! 武家屋敷de

たっぷり楽しむ お正月!

参加者募集



みんなが大好きなお正月! 江戸時代の武家屋敷で「食べて」「遊んで」「聴いて」...! 日本のお正月を楽しもう!

【日 時】 1月9日(土)
13:00～16:00(予定)

【場 所】 入交家住宅 伊賀市上野相生町2828番地
※駐車場はございませんのでご了承ください



【料 金】 一般300円/中学生以下200円

【内 容】 ●新春! 箏と尺八のしらべ(演奏会)
《出演: 邦楽グループ音夢 with 曾我岱位山》
●お正月遊び(カルタ・百人一首・BUNTOすごろく等)
●お餅つき大会!

【定 員】 40名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます

【お申込み】 12月20日(日) 午前9時より

電話22-0511にて受付

※1回のお電話につき、1家族
または4名までの申込とさせていただきます



阿山ふるさとの森公園

冬でも暖か〜い! 冬期ぬくぬくキャンペーン

「野天・もくもくの湯」温泉入浴券プレゼント!
コテージ、ログハウスを4名以上でご利用いただく場合、
温泉入浴券を4枚プレゼントします。

冬期ぬくぬくキャンペーン
期間限定: 12/15~2/28
申込みはお早めに!

キャンプで楽しく家族だんらん!

忘年会に新年会! クリスマス会にお誕生日会!

みんなで楽しく遊んで、ゆっくり宿泊!

冬期限定「ぬくぬくキャンペーン」で

「野天・もくもくの湯」の温泉入浴券をGETしちゃおう!!

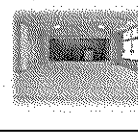


《コテージ》
和室(8畳)、ダイニングキッチン(10畳)
TV、エアコン、ユニットバス、トイレ、
流し、コンロ、冷蔵庫有り。
《ログハウス》
約6畳、ロフト付き(約4畳)
エアコン有り。

施設情報

◇研修室
45人程度でご利用いただけます。
会議や研修、創作活動等に
ご利用いただけます。

◇多目的集客室
52畳の和室で、集会や会議、
創作活動に宴会にご利用いた
できます。お弁当や仕出しのご相
談も承ります。



＜受付・お問合せ＞ 阿山ふるさとの森公園 電話 43-2065

楽しいなにか? 便利ななにか? 嬉しいなにか? ここから生まれるよ ぶんと「伊賀のたまご」

「伊賀のたまご」は当協会が運営する「ゆめテラノ伊賀」で活躍する大学の研究者及び新しい事業の創造に取り組む入居企業の紹介コーナーです。

三重大学客員教授・加藤 進



私は松阪の生まれです。大学は兼六園で有名な金沢大学です。大阪府でメッキの研究を3年して(これは通常の人にとっては6年の経験)、三重県庁で環境研究(水質・大気・廃棄物)に30年あまり携わりました。縁あって、今年の4月から伊賀拠点でお世話になり、主にバイオディーゼル燃料の製造・品質管理等の研究をしています。三重県在職中、特に後半の50代で途上国支援に目覚め、中国、フィリピンおよびタイには100回以上訪問しました。この間、日本のODAの底の浅さに何度も涙を流しました。

そうこうしているうちに、はじめたボランティアのイベントで「サイエンスショー」の魅力に取り付かれました。今では同胞の伊藤仁氏と3年前に「科学さーくる大黒屋」(<http://blog.livedoor.jp/scdaikoku/>)を立ち上げ、三重県中を股にかけております。

今年は伊賀市内の小学校で出前教室、神戸市(8月)と東京・八王子(11月)で「レモン電池1個でLEDを光らせる回路を作り、面白電池をつくろう」で400人のワークショップ(Agilent主催)の講師をつとめました。毎年行われる「青少年のための科学の祭典(11月28、29日、津、三重大学)」にも出展しました。来年は、是非来てください。写真は、松阪の第3小学校で宇田川裕恵のモデルを忠実に再現した「ボルトの電堆」を組み上げ、ボルトが当時ナポレオンの前で実施したと思われる水の電気分解をしているところです。



お問合せ: (財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

ホール・ドーム これから情報

あやま文化センター

伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
12/19(土) 14:00~	波多野みち子&上野合唱団コンサート 「クリスマスの歌の玉手箱」	一般1,000円 (当日200円増)	(財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
1/10(日) 15:00~	池田 卓 LIVE	2,500円	川上 ☎42-0800(自宅)24-7716(事務所)
1/31(日) 10:00~	第14回あやま芸能交流会	無 料	あやま芸能交流会実行委員会 伊賀市教育委員会阿山公民館 ☎43-0154

青山ホール

伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
12/19(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)
12/23(水・祝) 13:00~	ピアノ発表会	無 料	塚下由美子 ☎0595-68-3466(塚下)
12/27(日) 13:30~	上野商業・農業・工業・伊賀白鳳高等学校 吹奏楽部 合同バンド演奏会 絆〜つながるメロディー〜	無 料	上野商業高校・上野農業高校・上野工業高校・伊賀白鳳高校 吹奏楽部 ☎0595-21-2111(上野工業高校内) 市橋明子
1/16(土) 13:30~	伊賀音楽療法研究会 10周年記念講演会 「あなたの健康、振り返ってみませんか?」 〜健康づくりのコツ、見つけましょう!〜	1,000円	伊賀音楽療法研究会事務局 伊賀市社会福祉協議会内 ☎0595-21-5866(吉田)
1/24(日) 13:30~	第20回 青山推薦コンサート	全席自由 一般1,000円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎0595-22-0511
2/6(土) 10:00(予定)	第22回管楽器・個人重奏 コンテスト三重県大会	500円 小学生300円	三重県吹奏楽連盟 ☎059-388-9112 三重県吹奏楽連盟(園校)
2/7(日) 10:00(予定)	第22回管楽器・個人重奏 コンテスト三重県大会	500円 小学生300円	三重県吹奏楽連盟 ☎059-388-9112 三重県吹奏楽連盟(園校)
2/11(水・祝) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)

ふるさと会館いが

伊賀市下柵植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
1/6(水) 10:00~	絵本の時間 (絵本の読み聞かせ)	小ホール	無料	いがまち公民館教室 ☎45-9122(西川)
1/24(日) 13:30~	伊賀びとと川柳 大正で夢で見る新春コンサート	大ホール	500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
1/30(土) 9:45~	第7回三重県立あけぼの学園高等学校 成果発表会	大ホール	無料	三重県立あけぼの学園高等学校 ☎45-3050(佐々山)
2/3(水) 10:00~	絵本の時間 (絵本の読み聞かせ)	小ホール	無料	いがまち公民館教室 ☎45-9122(西川)
2/7(日) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	大ホール	参加料500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
2/11(水・祝) 14:00~	建国記念の日を お祝いするみんなの集い	小ホール	無料	伊賀市教育委員会阿山公民館 ☎45-1661(森下)

●編集部だより●

未曾有の不況と言われて1年が過ぎました。夢や文化のない「モノ」を生産し、売れないと従業員という「お客」を辞めさせる、こんな事ではまだまだ回復は難しいそうです。

一方で最近、ロハス＝「環境や健康、そして文化に関心を持つ生活スタイル」が注目されています。そう！秘蔵の国・伊賀にはロハスな「素材・人材」がたくさん埋もれています。

来年2010年、この伊賀から新たな価値観を世に発信できれば、世の中もっと明るくなるかな……。 (広報事業委員 下猶茂樹)

伊賀びと川柳

伊賀学でより深くなる郷土愛
恐がる子泣かせて祭り盛り上がる 福沢 義男
獅子舞に伊賀肉あげて拝みたい 松原美知子
宵宮に山車の灯ゆれる城下町 井ノ上 博男
馬岡 喜子

次号の締切は1月15日です。投稿いただいた方の中から★印の方に「東京混声合唱団 青山ホール特別公演」のチケットをペアでプレゼントします。伊賀にちなんだ川柳・氏名・住所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の欄名をハガキ・FAX・Eメールで左記までお願いします。

伊賀市文化会館

伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
12/19(土) 18:00~	WILD STYLE JAM vol6	2,500円	SOSカモエスタジオ/ストリートダンス連盟 ☎24-0637(H.H.D studio)
12/20(日) 14:00~	伊賀シンフォニックアカデミー吹奏楽団 第43回定期演奏会	一般1,000円 高校生以下500円	伊賀シンフォニックアカデミー吹奏楽団 ☎36-2852(川崎)
1/10(日) 11:30~	平成22年成人式	無 料	伊賀市・伊賀市教育委員会 ☎22-9679(生涯学習課)
1/11(月) 10:00~	KUMON伊賀地区合同表彰式	関係者	公文式教室伊賀地区自主研ささゆり ☎059-225-5518(日本公文教育研究会伊賀事務局)
1/30(土) 11:00~	朝日ファミリー劇場	無料 整理券要	朝日新聞社/三重朝日会 ☎36-2852(吉岡新聞舗)

21-0206

ゆめドームうえの

伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の5 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
12/23(水・祝) 10:00~	JA共済 アンパンマンキャラバン	第1	JALいかほくぶ ☎24-5111 ※新型インフルエンザ等により中止になる場合があります。
12/26(土) 8:00~	新居招待フットサル大会	第1、第2	新居サッカースポーツ少年団 ☎090-3581-9963(稲垣)
1/5(水)~1/6(木) 5日9:30~ 6日9:00~	伊賀ウィンターカップ 兼スポーツマツヤマ杯	第1、第2	伊賀市バレーボール協会中学生の部 ☎24-5827(杉森)
1/16(土) 9:00~	第5回伊賀市 小学生バレーボール新人大会	第1、第2	伊賀市小学生バレーボール連絡協議会 ☎21-5748(生中)
1/17(日) 9:00~	伊賀市長杯 ソフトバレーボール大会	第1	伊賀市ソフトバレーボール連盟 ☎23-5865(竹腰)
1/23(土) 9:00~	三重県小学生バレーボール新人大会 伊賀地区予選	第1、第2	伊賀ジュニアバレーボール育成会 ☎21-5748(生中)
2/7(日) 8:00~	第50回伊賀地区駅伝競走大会	第1、第2	伊賀地区駅伝競走大会実行委員会 ☎22-9680(伊賀市教育委員会スポーツ振興課)

●施設年末年始休業日●

当協会が管理等を行う施設の年末年始のご利用について案内します。

◆次の施設は年末年始に休業日がありますのでご注意ください。

- ◇12月29日(火)~1月3日(日)まで休業日となる施設
- 伊賀市文化会館
 - 青山ホール
 - 阿山ふるさとの森公園
 - 栄楽館
 - 旧小田小学校本館
 - 上野歴史民俗資料館
 - 阿山ふるさと資料館
 - ふるさと会館いが
 - あやま文化センター
 - 伊賀上野交流研修センター
 - 史跡旧崇徳堂
 - 城之越遺跡
 - 入交家住宅
 - 三重県立ゆめドームうえの

- ◇12月27日(日)~1月4日(月)まで休業日なる施設
- 伊賀市上野図書館

◆次の施設は年末年始(12月29日(火)~1月3日(日))もご利用できますが、12月20日(日)の午後5時までに受付を済ませてください。また、年末年始の受付は休業となり、平成21年3月の受付は1月4日(月)からとなります。

- 上野運動公園野球場
- 上野運動公園スポーツセンター
- 上野運動公園体育館
- 上野緑ヶ丘テニスコート
- 島ヶ原グラウンド
- 阿山第二運動公園
- いがまちスポーツセンター
- 青山北部公園運動施設
- 大山田B&G海洋センター
- 上野運動公園競技場
- 上野運動公園テニスコート
- 伊賀上野武道館
- ゆめが丘テニスコート
- 阿山第一運動公園
- せせらぎ運動公園
- 青山グラウンド
- 阿山B&G海洋センター

◆次の施設は冬期芝生養生期間を設けていますので、年末年始等は次のように取り扱いますのでご注意ください。

- ◇施設名 ゆめが丘多目的広場
- ◇養生期間 1月1日(金)~4月16日(金)は使用できません。
- ◇使用可能日 12月29日~12月31日
- ◇受付期間 12月20日(日)午後5時まで

お問い合わせ (財)伊賀市文化都市協会 TEL.0595-22-0511 FAX.0595-22-0512
☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2 Eメール samazama@bunto.com

- 伊賀市文化都市協会 <http://www.bunto.com>
- ふるさと会館いが <http://www.ict.ne.jp/~furukan/>